

哲學研究

第四十四卷 第三冊

第五百九號

昭和四十三年九月一日發行

自由・運命・攝理……………島 芳 夫

マックス・ウエーバーにおける

東洋哲學の社會學的考察(一)……………井 守

科學的認識をめぐる合理論と

經驗論の對立と交錯

— その現代理論哲學における意味 —

……………野 本 和 幸

京 都 大 學 文 學 部 内

京都哲學部
京都大學
左學部
區文學部
吉田本町
田部
本研究室

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年二、四〇〇圓（會誌十二冊分を含む）を前納する
- 但し 二回又は三回に分納することもできる
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

有池石井井上柿重園武辻中野長服藤松武本森山湯吉
 福田野上島野崎野山澤原内村尾田部澤尾藤吉
 孝義照祐雄俊太義公久雅又令義一良都幸二
 岳祐仁勉俊夫一一郎郎一範郎郎一夫人明夫海雄治晶孫郎

会 告

京都哲学会公開講演会予告

日時 十一月二日(土)午後一時半
会場 京都大学法経第七講義室
(文学部事務室南方)

- 一、仏教における瞑想と哲学……………京都大学助教授 梶山雄一
一、無からの創造……………京都大学教授 山田晶

——その解釈と意義——

※ 右終了後梁友会館にて懇談晚餐会を開きます(会費約千円)。

※ 所属機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京大文学部社会学研究室までお申出下さい。

日本学術会議会員候補者推薦の件

今秋行われる日本学術会議第八期会員選挙にあたり、近畿地方区第一部候補者として京都大学文学部並びに美学会より推薦されております本会委員井島 勉氏(京都大学文学部長)を本会としても推薦することになりましたのでお知らせいたします。

昭和四十三年九月

京都哲学会

| 次 号 論 文 予 告 | | |
|---------------------|-----------|--|
| 書の論理…………… | 植 田 寿 蔵 | |
| 倫理理論に於ける効用の観念…………… | 神 野 慧 一 郎 | |
| 世界概念の哲学…………… | 有 福 孝 岳 | |
| ——カントに於ける道德と宗教の問題—— | | |

| 前 号 目 次 | | |
|-------------------------------|-----------|-----------|
| ホワイトヘッド『過程と実在』への序説(承前 完)…………… | 野 田 又 夫 訳 | ジョン・D・ゴレン |
| 苦しみの場所…………… | 森 口 美 都 男 | |
| ——その四—— | | |
| 自由と必然…………… | 戸 田 省 二 郎 | |
| ——カントの自由論を中心として—— | | |

會 告

- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けませんが、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座東京四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年二、四〇〇圓又は半年一、二〇〇圓）をお拂込下さい
- 又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地三号創文社（振替口座東京九二四七二番）宛に願います
- 一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい（一年分又は半年分）、會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送付済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に清算します
- 一、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい
- 一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和四十三年八月二十五日印刷
昭和四十三年九月 一 日發行

編 集 人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

編 集 代 表

有 福 孝 岳

發 行 人

久 保 井 理 津 男
東 京 都 千 代 田 區 一 番 町 一 七 番 地

印 刷 人

堀 内 文 治 郎

印 刷 所

東 京 都 千 代 田 區 三 崎 町 二 一 八

發 行 所

株 式 會 社

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 一 番 町 一 七 番 地
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番
電 話 東 京 二 六 三 一 七 一 〇 一 (代 表)

註 文 規 定

- 一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
- 一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價二五〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

昭和四十三年八月二十五日發行（每月一回）

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLIV

September, 1968

No. 3

Freedom, Destiny and ProvidenceYoshio Shima

Die soziologische Betrachtung Max Webers

über die asiatische PhilosophieMamoru Mukai

A Logical Analysis of Scientific KnowledgeKazuyuki Nomoto

Published Monthly

by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價 二五〇圓

IBM 6427